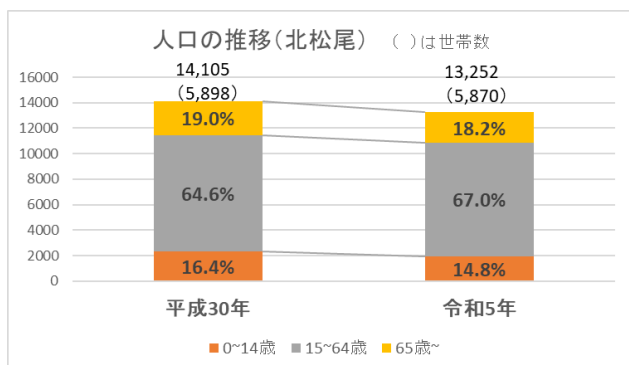


北松尾校区

地域別人口



基礎データ

組織・人的資源	町会自治会数	6
	校区社協役員数	41
	校区社協ボランティア数	76
	民生委員・児童委員数	16
	老人クラブ会員数	1023
	いきいきいずみ体操数	6
	おたがいさまサポーター数	7
	高齢者見守り協力事業所数	11
	子ども食堂(子どもの居場所)数	1
自主防災組織の有無	有	
対象者数	ふれあい訪問利用者数	21
	誕生月訪問利用者数	164
	避難行動要支援者登録数	94

ふくしアンケート結果ランキング(抜粋)

こんなまちだといいな	
1.買物が便利なまち	
2.障がい者の理解が進みバリアフリーなまち	
3.みんなが集まれるイベントやお祭りがあるまち	
3.幅広い世代の人々の交流や付き合いが多いまち	
こんな場所があったらいいな	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.障がい児やその保護者を支援する居場所	1.思いっきり遊べる広い公園や広場
2.高齢者の経験や強みを生かせる場所	2.いろいろな遊び道具があって自由に遊べるしせつ
2.子育てを応援してくれる場所	
3.放課後に保護者が帰宅するまで、安全に子どもが過ごせる居場所	3.雨の日でも遊べる場所
	3.体育館やプール
興味があるボランティア活動	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.子どもの居場所づくり	1.年下の子どもの遊び相手をしたり面倒をみる
2.高齢者の地域での見守り訪問.	2.年下の子どもに勉強を教えたり話し相手になる
3.高齢者の交流の場づくり(いきいきサロンなど)	3.赤ちゃんや小学校に入る前の子どもの世話をする

地域での話し合い(ワークショップ)での意見

- ❖ 色んな地域活動をしていても、アンケート結果からは、校区社協の活動を知らない人が多いので、広く活動を知ってもらいたい。
- ❖ 災害はいつ起こるか分からないので、日頃から対策や助け合いを考えていきたい。
- ❖ 子どもから高齢者まで交流出来る場を考えていきたい。

北松尾校区の活動テーマ

支えあえる町北松尾

私たちの重点取り組み

重点取り組み①

【目 標】 「校区社協の活動を知ってもらい、利用する人や一緒に活動する人を増やしていこう」

【具体的な取り組み】

- 北松尾校区の活動についてのパネルや冊子、チラシを作成し周知していく
- 各町会・自治会会報誌への継続的な情報提供で活動を知ってもらい、担い手も募集していく
- 各種行事を通しての活動PR（小さい頃から地域の事を知ってもらう）

重点取り組み②

【目 標】 災害時に助け合える町にしていこう

【具体的な取り組み】

- 校区で防災研修や訓練を実施していく
- 子どもさんや親も楽しく参加してもらえる災害の訓練を企画し、行事の1コマで実施していく
- 高齢者や障がい者等が安全に避難出来るように考える

重点取り組み③

【目 的】 日々のお話し合いが出来るように顔見知りの人を増やしていこう

【具体的な取り組み】

- いきいきサロンへ参加した事のない人（高齢者・子ども等）の参加を促す
- 高齢者・子ども等が参加しやすい行事や集いの場を考え試していく
- 老人クラブや各種団体とのコラボで世代間交流の出来る行事等を企画

